

令和3年度 新宿区立落合第六小学校 特別の教育課程「みらい科」 全体計画

| | | |
|---|--|---|
| <p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭からの愛情を十分に受け、明るく素直な児童が多い。 ・学習課題に対して創意工夫をしながら、解決までの手順や方法を考え取組むことを好む。 ・人間関係にナイーブな面を示す児童が多い | <p>学校教育目標</p> <p>人間尊重の精神に基づき、日本人としての自覚を高め、広く国際社会に貢献できる感性豊かな主体的に行動できる人間の育成をめざし、次の目標を設定する。</p> <p>○明るい子（感性豊かな心の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かい心でみんなに親切にする ・誰とでも協力し、進んで仕事をする <p>○考える子（思考力・創造力の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで問題に取り組み、工夫して解決する ・自分の行いをよく反省し、改めようとする <p>○たくましい子(生命の尊重・心身の鍛錬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで、じょうぶな体に鍛える ・最善をつくし、ねばり強く実行する。 | <p>社会情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化、スマートフォンの普及、ビッグデータや人工知能の活用による技術革新 ・予測不可能な未来の中で、変化を前向きに受け止め、社会や人生を人間ならではの感性を働かせて豊かなものにしていくための教育改革 ・新学習指導要領で育む資質・能力「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」 |
| <p>学校の特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より未来につながる学力の育成を目指し、文部科学省教育課題特例校として、「みらい科」を創設した。 ・高学年がリードする縦割りでの学習や活動が多い。 ・地域や保護者の学校参画への意識が高く、協力的である ・企業連携など先進的な取組を多数行っている。 | <p>教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自律して学ぶ子どもに育てたい。 ・自分で夢になれる課題を見付け、そこから問いを見だし、自ら学び続ける子どもに育てたい。 ・様々な方法で自分のことを表現できるようにしたい。 | |

落六小 みらい科の目標

これからの時代を生きる「資質・能力」を汎用的スキルに置き換え、家庭や地域を巻き込みながら、学校教育から離れたところでも自律して学び続ける人材の育成

| 基礎力 | 思考力 | 実践力 |
|--|--|---|
| <p>低学年 言語・数量・情報などを用いて、調べたり表現したりすることができる</p> <p>中学年 調べたり表現したりするときに、「どこをどのように」調べ、表現したらよいかを推量することができる</p> <p>高学年 言語・数量・情報・身体動作などを使いこなしながら、流暢に調べたり表現したりすることができる</p> | <p>問題解決・発見力 個人あるいは集団で問題を発見し、解ける形に問題を定義し、解決策を考え、実行することができる</p> <p>論理的思考力 根拠を基に主張や結論を引き出したり、根拠や主張の間のつながりを丁寧に確かめたりすることができる</p> <p>批判的思考力 情報の取捨選択や、行動の選択を決めるために、じっくり考えることができる。自己や他者の関わりを再考し、より質の高い問題解決や発見をもとめることができる。</p> <p>創造的思考力 経験や情報を関連づけたり、思考を視覚化したりして、試行錯誤をしながら、これまでとは違った新しい解決案を提案することができる。</p> <p>メタ認知 自分の活動がゴールに向かってどの程度進んでいるのかをモニターし、どうすればうまく学ぶことができるかを考えたり、それに従って計画を立て直したりすることができる。効果的に学ぶために、タイムマネジメントなど、自らの学習をコントロールすることができる。</p> <p>学び方の学び 経験や記録も用いて、仲間とともに、学び方を振り返ることができる。</p> | <p>自分自身に関すること 周りの社会と関わりながら、自らの生き方や生活の仕方を主体的に選んでいくことができる</p> <p>他者や集団との関わりに関すること 多様な人々との相互理解を深め協働して問題解決していくことができる</p> <p>社会や自然に関すること 社会や自然の課題と向き合い、新たな価値を創造する持続可能な社会づくりを目指そうとしている</p> |

各学年の探究課題と育成することを旨とする主な資質・能力

| | 基礎力 | 思考力 | 実践力 |
|--|---|--|--|
| <p>低学年</p> <p>おもしろくDASH Jr 縦割り全校遠足 プログラミング学習 オープンスクール</p> | <p>国語 10時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力 <p>生活 20時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身や自分の生活について新たな気づきをする力 <p>特活 5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 自発的、自主的に活動を進める力 | <ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの事柄に目を向け、全体で取り組む課題を知り、教師と一緒に活動の見通しをもつことができる ○調べたり、観察したりしたことに基づいて、自分の考えを表現することができる ○教師や友達とのかわりを通して、自分の考えを振り返り、よりよい考えを見つけようとする ○活動を楽しみながら、次にしてみたいことを考えることができる ○学習計画に沿って活動を振り返り、教師と一緒に、その後の学習を修正したり調整したりすることができる | <ul style="list-style-type: none"> ○身近な社会と自分の生活のかかわりに目を向け、楽しみながら進んで活動しようとしている ○友だちの良いところを見つけたり、分らないことやできないことは、周りの人に尋ねたりすることができる ○身近な社会（学校・地域）に目を向け、愛着をもつことができる |
| <p>中学年</p> <p>おもしろくDASH 縦割り全校遠足 グラレコ プログラミング学習 オープンスクール</p> | <p>国語 10時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力 <p>総合 30時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会や実生活の中から問いを見だし、自ら課題を見つけ、自ら考えて判断し、よりよく問題を解決できるようにする。 <p>特活 10時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 自発的、自主的に活動を進める力 | <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決するための見通しをもったり、手段や方法を考え、実行しようとしている ○目的を明確にしながら調べたり、根拠をもって表現したりすることができる ○自己内対話で思考を深めたり、仲間との関わりの中で、新たな考えを見出そうとしたりしている ○考えたことを文字や図表で表したり、関連づけたりしながらよりよくなる工夫を考え実践につなげようとしている ○活動を振り返り、自分の達成度や成果を考え、繰り返し取り組もうとしている | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の良さや、自分にできることに気づき、それをいかして取り組もうとしている ○身近な人と力を合わせて活動に取り組んだり、自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解することができる ○自分と地域のつながりに気づき、地域の活動にかかわろうとしている |
| <p>高学年</p> <p>おもしろくDASH 縦割り全校遠足 グラレコ プログラミング学習 オープンスクール</p> | <p>国語 10時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力 <p>社会 5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察や調査した事柄を関連付けられる力 <p>特活 10時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 自発的、自主的に活動を進める力 <p>総合 5年 30時間 6年 40時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者との関わりを通して、自分の考えを深め、広げることの尊さを理解し、よりよい未来を拓く一員として地域・社会に参画しようとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○課題を実現するために、見通しをもって可能な解決方法を考え実行することができる ○根拠をもとに発想を広げて仮説を立てたり、複数の物事の共通点を見出して結果を想定したりすることができる ○振り返りを通して、自分自身や仲間とのかわりについて客観的に考え、次の活動にいかそうとしている ○考えたことを視覚的にまとめたり、抽象的に表したりしながら、活動を俯瞰的にとらえ、新たな発想で提案することができる ○活動を振り返り、進捗状況を確認したり、目的を達成するための見通しをもつことができる | <ul style="list-style-type: none"> ○活動を通して、自分の生活を見直し、自分の良さや自分にできることを理解し、全体を見て自分の役割を考えることができる ○異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しながら活動に取り組み、みんなの思いや願いを実現しようとしている ○探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとしている |

| | | | |
|--|---|--|--|
| <p>指導体制・指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の教員による単元や授業の修正・改善を図る協同体制、年間計画 ・ねらいを明確にした体験活動 ・各教科との関連の工夫 ・児童の主体的な学びを引き出す指導 | <p>地域材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールコーディネーター、地域協働学校との連携を図り、地域の学習材の積極的な活用による体験活動の充実 ・企業との連携 | <p>学習の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、作品・制作物・発言・発表、ポートフォリオなどによる評価 ・個人内評価の重視 | <p>学習活動・留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じたプロジェクト学習で構成し、十分な時間を確保しながら探究的な学習課程になるようにする。 |
|--|---|--|--|